

第661回建設技術講習会の概要



今年度の風水害の特徴や災害復旧事業の注意点を解説！！

○開催日：令和2年2月5日（水）～2月7日（金）

○開催場所：沖縄県那覇市

○テーマ：災害復旧 ～災害復旧の制度、災害復旧時の工法や技術、申請のポイント、災害査定時の留意点などの実務を学ぶ～

○主な講演内容

- ・復旧工法や緊急措置の企画・提案、助言等により自治体等を支援！TEC-FORCEの活動や制度
- ・災害対応担当者必聴！！「公共土木施設に係る災害復旧事業と改良復旧事業について」
- ・大地震が発生したとき、何をすべきか！「熊本地震」での実体験を熊本県職員が語る！

○現場研修

- ・モノレールを活用したパークアンドライドを推進！「沖縄都市モノレール延長整備事業」
- ・本島と人工島を結ぶ橋梁の下部工を視察「一般県道20号線（泡瀬工区）橋梁整備事業」
- ・クルーズ船の寄港数が日本第2位！「旅客船ターミナル整備事業（那覇クルーズターミナル）」
- ・上下分離のNATM工法によるトンネル掘削「高規格幹線道路 小禄道路整備事業」

○交流会（参加予定講師） ※今後予定が変更する場合があります

- ・国土交通省 丸山講師、服部講師、鴨原講師

全建発第1～254号
令和元年11月29日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和 印省略

第661回建設技術講習会（災害復旧）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の貫徹に向けた取り組み、AI やロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第661回建設技術講習会では、公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、災害査定申請ポイント、留意事項、大規模災害時における査定、改良復旧事業の計画手法、危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第661回建設技術講習会（災害復旧）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、令和2年2月5日(水)～7日(金)、那覇市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、災害査定申請のポイント、留意事項、大規模災害時における査定、改良復旧事業の計画手法、危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は沖縄県(予定)・那覇市の共催(予定)、国土交通省、内閣府沖縄総合事務局(予定)の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,740円	13,648円	13,648円	13,648円
沖縄県内の国・県・政令市に勤務	13,648円	2,037円	2,037円*2	—
沖縄県内の市町村に勤務	2,037円	0円	—	—
九州地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,740円	2,037円	—	—
30歳未満	18,740円	2,037円	—	—
学生	0円	—	—	—

*1政令市職員は除く、*2特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,037円)で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現場研修料：7,700円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「661」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：令和2年1月17日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	令和2年1月24日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	令和2年1月31日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：9単位/3単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第661回建設技術講習会(災害復旧)日程

～災害復旧の制度、災害復旧時の工法や技術、申請のポイント、災害査定時の留意点などの実務を学ぶ～

- ・公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術
- ・災害査定申請のポイント、留意事項
- ・大規模災害時における査定
- ・改良復旧事業の計画手法
- ・危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報

《参加者/全国官公庁に勤務する建設関係職員280名程度(地方自治体職員9割)》

会場 …… 琉球新報ホール
〒900-8525 那覇市泉崎1-10-3 TEL098-865-5255(代)

(1日目) 開場11:40		令和2年2月5日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	内閣府沖縄総合事務局次長	小口浩	
13:00		沖縄県知事 那覇市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	玉城デニー 城間幹子 西成秀幸	
13:00 }	令和元年災害の概要と災害復旧事業採択について ～災害復旧制度・注意点と最近の話題～	国土交通省水管理・国土保全局防災課	丸山準	
15:00		総括災害査定官		
15:10 }	国土交通省の災害初動対応について ～TEC-FORCEの取り組み～	国土交通省水管理・国土保全局防災課	服部洋佑	
16:10		課長補佐		
16:20 }	【地域事業の紹介①】 那覇空港自動車道 小禄道路の整備について	内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所	松川剛	
16:50		調査第一課 課長		
16:50 }	【地域事業の紹介②】 沖縄都市モノレール延長整備事業について	沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課	安里嗣也	
17:20		主幹		
参加者同士の交流会・講師との意見交換会 <希望者のみ> (18:15～19:45(予定))		沖縄県青年会館 2階「大ホール」	TEL098-864-1780	
(2日目) 開場 9:00		2月6日(木)		(敬称略)
9:40 }	港湾関係災害復旧事業の概要について	国土交通省港湾局海岸・防災課	嶋原茂	
10:40		総括災害査定官		
10:50 }	都市災害復旧事業制度の概要について	国土交通省都市局都市安全課	木村英雄	
11:50		課長補佐		
13:00 }	災害復旧事業における地すべり対策について	国土交通省水管理・国土保全局防災課	小寺秀治	
14:00		災害査定官		
14:10 }	公共土木施設に係る災害復旧事業と改良復旧事業について	国土交通省水管理・国土保全局防災課	小寺秀治	
15:10		災害査定官		
15:20 }	熊本地震で被災した公共土木施設の復旧について ～初動から現状まで～	熊本県土木部道路保全課	福田恭久	
16:20		課長補佐		
16:20 }	閉会のあいさつ	沖縄県土木建築部土木総務課 土木整備統括監	照屋寛志	
(3日目) 集合 8:00～		2月7日(金) 【現場研修】		

沖縄県庁東側バス駐車場(8:30)出発

- 沖縄都市モノレール延長整備事業(下車説明) → 一般県道20号線(泡瀬工区)橋梁整備事業(下車説明)
- 昼食(那覇市内) → 旅客船ターミナル整備事業(那覇クルーズターミナル)(下車説明)
- 高規格幹線道路小禄道路整備事業(下車説明) → 那覇空港(15:30)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建：9単位/3単位、CPDS：(未定)

第661回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 沖縄都市モノレール延長整備事業

那覇市首里汀良町～浦添市前田

- ・都市の健全な発展と連携・交流を促進し、高齢化社会や地球環境問題等に対応した、自動車等とモノレールを基軸とした公共交通が共存する沖縄らしい戦略的な交通体系整備が強く求められている。
- ・首里駅から沖縄自動車道（西原入口）までのモノレール延長区間の整備に取り組み、首里駅～てだこ浦西駅までの約4.1kmの間に4駅の整備を完了し、令和元年10月1日に開業。
- ・駅を中心としたまちづくりが促進されることで、新たな観光回遊ルートが地域の発展に寄与し、沖縄観光の魅力の向上につながることを期待。
- ・モノレールを整備することで、地球温暖化防止を目指し、温室効果ガスの削減にも寄与し、高齢者・障害者・子供たちまで全ての人にやさしい公共交通機関として期待されている。



2. 一般県道20号線（泡瀬工区）橋梁整備事業

沖縄市泡瀬地先

- ・沖縄本島中部東海岸地域の活性化を図る埋立人工島にアクセスするための海上架橋事業。
- ・橋梁は、橋長 810m、幅員 23.3～24.4m の P C 4 径間プレキャスト中空床板 (142.75m) + P C 12 径間連続箱桁橋 (667.25m) で構成。
- ・人工島まで工事用仮栈橋を設置して施工。下部工は、直接基礎と鋼管杭基礎、上部工箱桁は、人工島で製作して架設桁にて張出架設。
- ・現在、仮栈橋と下部工 19 基中 14 基完了しており、下部工 5 基や上部工桁製作設備などを施工中。
- ・架橋周辺には、南西諸島で最大級の干潟である泡瀬干潟が位置しており、絶滅危惧種である日本固有種の藻類クビレミドロや世界的な分布の北限となっているトカゲハゼが生息している。
- ・トカゲハゼ保全のため、下部工などの海上工事は 8～3 月の 8 ヶ月間のみ工事を実施。



3. 旅客船ターミナル整備事業（那覇クルーズターミナル）

那覇市若狭

- ・沖縄県の自立的経済発展のリーディング産業として観光産業が位置づけられており、そのなかでも、国内外からの大型クルーズ船を利用した観光の進展は、今後、ますます期待されている。
- ・那覇クルーズターミナルがある泊ふ頭8号岸壁は、現在那覇港で唯一のクルーズ船専用岸壁であり、17万トン級以下かつ船長が335m以下の船舶に対応した岸壁となっている。
- ・旅客ターミナルは、1階にエントランスホール、インフォメーションコーナーが設置されており、2階が主に出入国、税関審査等のためのスペースのほか、沖縄の伝統工芸品やクルーズ船の記念楯などが展示されている。3階は展望デッキとなっており、クルーズ船接岸時には間近に見ることが出来る。また、ターミナル内には無料のW i F i が整備されている。
- ・本バースは耐震強化岸壁としても整備を行い、大規模地震発生時には緊急物資の輸送拠点となる。
- ・なお、大型船舶（全長335m超）入港時もしくは複数船舶の同時入港時はやむを得ず他の貨物岸壁を用いて対応しており、本年度以降寄港回数の増加への対応や旅客の安全等のために新たなクルーズ船専用岸壁を整備する予定である。



4. 那覇空港自動車道 小禄道路整備事業

那覇市～豊見城市

- ・那覇空港自動車道は、沖縄自動車道と那覇空港を結び、沖縄本島中北部地域との連携強化及び那覇都市圏における渋滞緩和を目的とした延長約18kmの高規格幹線道路。
- ・小禄道路は、那覇空港自動車道の一部区間で、那覇空港 I C から豊見城・名嘉地 I C 間の延長約6km。
- ・2011年度に事業化され、開通すると、那覇空港と沖縄島北部のアクセス性が向上するとともに、那覇都市圏の渋滞緩和にも寄与。
- ・なお、他区間（豊見城東道路、南風原道路）は全線4車線開通済み。



第661回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には那覇市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込締切後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

令和2年2月4日(火)、5日(水)、6日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
G R Gホテル那覇東町 那覇市東町6-16 TEL098-862-7200	シングル	40名	8,000円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第661回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 令和2年2月5日(水) 18:15～19:45(予定)
(第661回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所： 沖縄県青年会館 2階「大ホール」

会費： 2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
 ※この交流会は会費制です。
 ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
 ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
 ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
 ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- ・ 国土交通省水管理・国土保全局防災課 総括災害査定官 丸山 準 講師
- ・ 国土交通省港湾局海岸・防災課 総括災害査定官 嶋原 茂 講師
- ・ 国土交通省水管理・国土保全局防災課 師謡補佐 服部 洋佑 講師
- ・ 国土交通省水管理・国土保全局防災課 査定官 小寺 秀治 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)
 ※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
 TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第661回建設技術講習会（災害復旧）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
								2月 4日	5日	6日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,740円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,648円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,037円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く)						現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※		宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。		
現場研修料 名×7,700円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,037円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。